

3.2 就職（企業との関わり）について

(1) 奈良高専卒業生向け再就職支援

本校では、奈良県内企業を中心に卒業生の再就職支援に取り組んでいる。

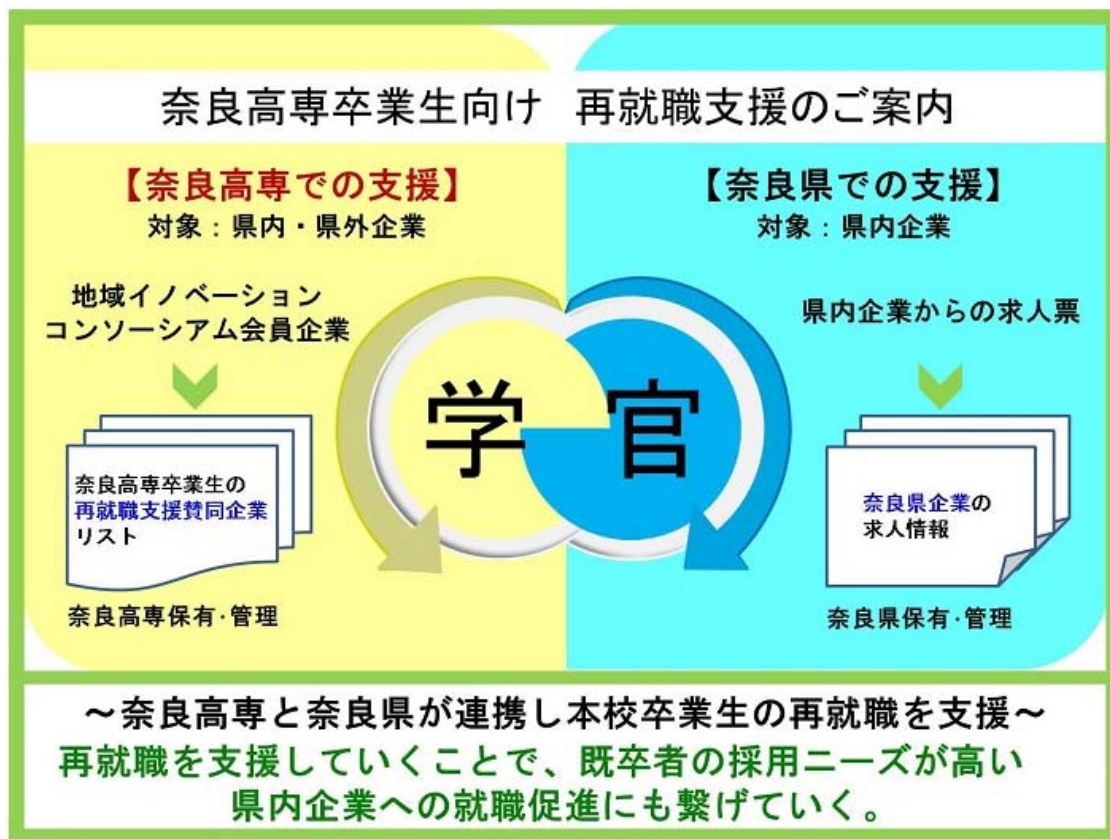


図1 奈良高専卒業生向け再就職支援の取り組み

1) 奈良県と連携した奈良県内企業への再就職支援

本校は、奈良県産業・雇用振興部 雇用政策課と連携し、平成 28 年度より卒業生の県内再就職支援に取り組んでいる。一度は県外の企業に就職したが、事情があつて奈良県内への再就職を希望する本校卒業生や子育てが一段落し県内での就労復帰を目指す卒業生を対象に、奈良県産業・雇用振興部 雇用政策課と連携し平成 28 年度、奈良県ホームページ上で奈良高専卒業生向け県内再就職支援の紹介ページを立ち上げた。平成 29 年度には、本支援を更に推し進める為、再就職を希望する本校卒業生対象にメールアドレス登録システムを当該ページに構築するなど再就職支援体制を充実させてきた。本取り組み開始以降、本登録システムや地域創生科目を通じて協力関係にある県内企業との交流を通じ、これまでに卒業生 6 名の県内企業への再就職が決まり（内、平成 30 年度は 3 名）着実に成果をあげている。

2) 奈良高専地域イノベーションコンソーシアムを通じた再就職支援

本校のある奈良県と魅力ある企業を多く抱える周辺の大阪府・京都府等を対象に、本校が窓口となり、再就職を希望する卒業生と本イノベーションコンソーシアム会員企業との間で調整をはかり再就職支援に取り組んでいる。平成 30 年度は、これまでに（平成 31 年 1 月末

現在) 2名の卒業生から再就職の相談を受け、本人の希望と会員企業の求人ニーズとのマッチングを進めた結果、1名の再就職が内定するなど着実に成果が現れている。
内定が決まった卒業生からは、本再就職支援に対する感謝のコメントも寄せられた。

卒業生の声：就職内定者のインタビュー NO.1

1. 「奈良高専卒業生向け 再就職支援」に登録したきっかけ、動機を教えてください。

→登録したきっかけとしては、専攻科に進学した友人からホームページの存在を教えてください、登録をしました。そういった意味で言えば、友人がいなければ存在を知ることが出来なかったのも、横のつながりの交友関係も大切ななと実感しました。

2. 登録してから希望企業に就職内定を頂くまでのプロセスについて教えてください。

→ホームページに載っている図の通りに進んでいきました。希望企業との最初の面談は奈良高専の担当者に同行していただけたので、スムーズに話を進めることが出来ました。その後の面接、試験に関しては企業ごとに違うと思いますが、私の場合は、一次面接と筆記試験、後日二次面接を行い、内定をいただくことが出来ました。

3. 再就職先として、どのような点を重視しましたか？

→自分に向いているかどうかという点を重視しました。奈良高専の担当職員から直接、色々な企業の話を開けるので、インターネット上だけでは分からないことも知ることが出来ます。そういった部分も判断材料の一つになると思います。

4. 就職担当職員が同行し、希望企業へ訪問した際の感想はいかがでしたか？

→インターネットの情報だけでは知れることにも限界はあると思うので、実際に会社を見学し、お話を伺うことは大切だと思います。集団で行う会社見学と違い、一対一で対応して頂けるので、自分の気になった所など質問しやすい環境でした。

5. これから「奈良高専卒業生向け 再就職支援」に登録を考えている卒業生に向けて、アドバイスをひとことお願いします。

→転職をするとなると、自分の環境が大きく変化してしまいますし、躊躇してしまう気持ちもあると思います。奈良高専の再就職支援では、担当職員とじっくり話をすることも出来ますし、自分の希望することをしっかりと伝えれば失敗をするリスクは減らせると思います。普通に転職をするより良い結果に繋がるとも思いますので、ぜひ再就職支援を活用していただけたらいいのではと思います。

図2 再就職内定者のコメント紹介

(2) 奈良県と連携した県内雇用促進・人材定着に向けた取り組み

1) 『県内企業と奈良高専教員との交流会』開催(奈良県主催)

本校ではCOC+事業の一環として県内企業との交流深化に取り組んでいる。平成28年度、平成29年度に続き、平成31年2月8日(金)、奈良県文化会館2階小ホールにて奈良県(雇用政策課)主催で「県内企業と奈良高専教員との交流会」を開催し、前回を上回る県内企業23社(33名)が参加した。第一部では、参加企業が5つのグループに分かれ、本校各学科(機械工学科、電気工学科、電子制御工学科、情報工学科、物質化学工学科)の教員が20分ごとに各グループを回り、それぞれのグループで情報・意見交換を行った。第二部では、各学科教員が学科毎に分かれ、参加企業が自由に学科教員のところへ行き、情報・意見交換を行うという前回には無かった進行方式も取り入れ、各学科の最近の進路状況や研究内容の紹介にはじまり、採用後の高専生の待遇や企業PR、本校が企業に求めることなど、様々な視点から活発な意見が交わされた。今回もこれまで同様、和やかな雰囲気の中で活発な情報交流を

通じ本校と参加企業との間で相互信頼を高めることができた。



写真1 「県内企業と奈良高専教員との交流会」風景（上：第一部、下：第二部）

2) COC+3 校合同『県内企業見学会』（見学バスツアー）開催（奈良県主催）

平成 31 年 2 月 15 日（金）、奈良県主催で COC+3 校（奈良女子大学、奈良高専、奈良県立大学）合同『県内企業見学会』を開催した。当日は、3 校の学生 31 名が参加、3 校教職員 4 名、奈良県雇用政策課職員 2 名が引率し、A コース、B コースに分かれ、製造業を中心とした県内企業 6 社（A コース：株式会社品川工業所、上六印刷株式会社、株式会社フジフレックス B コース：辰巳電子工業株式会社、株式会社藤田油機、ケイミュー株式会社）をバスにて順次訪問し企業見学を行った。各社では、学生たちが会社紹介を受けた後、工場や職場を見学し、企業の方々と質疑応答を行うなど企業と学生との交流を深めた。実際の企業現場を体験することで県内企業の魅力を発見する良い機会となった。

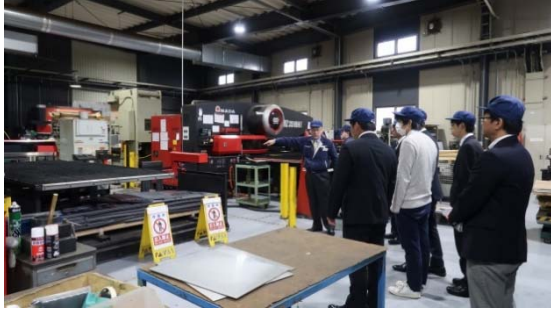


写真2 「県内企業見学会」 Aコースの風景

(左上：株式会社品川工業所、右上：上六印刷株式会社、左下：株式会社フジフレックス)



写真3 「県内企業見学会」 Bコースの風景

(左上：辰巳電子工業株式会社、右上：株式会社藤田油機、左下：ケイミュー株式会社)